

「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

1. 概要

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17の考古遺跡で構成される。

北東アジアにおいて長期間継続した採集・漁労・狩猟による定住の開始、発展、成熟の過程及び精神文化の発達をよく示しており、農耕以前における人類の生活の在り方と、精緻で複雑な精神文化を顕著に示す物証である。

世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスから世界遺産一覧表に「記載」することが適当であるとの勧告がなされたことを踏まえ、令和3年7月27日、世界遺産委員会において世界遺産一覧表への記載が決定された。

2. 構成資産

○北海道

かきのしまいせき きたこがねかいづか おおふねいせき

垣ノ島遺跡、北黄金貝塚、大船遺跡、

いりえかいづか たかさごかいづか

入江貝塚、高砂貝塚、キウス周堤墓群

○青森県

おおだいやまといせき たごやのかいづか さんないまるやまいせき

大平山元遺跡、田小屋野貝塚、三内丸山遺跡、

ふたつもりかいづか こまきのいせき おおもりかつやまいせき

二ツ森貝塚、小牧野遺跡、大森勝山遺跡、

かめがおかせつきじ だいいいせき これかわせつきじ だいいいせき

亀ヶ岡石器時代遺跡、是川石器時代遺跡

○岩手県

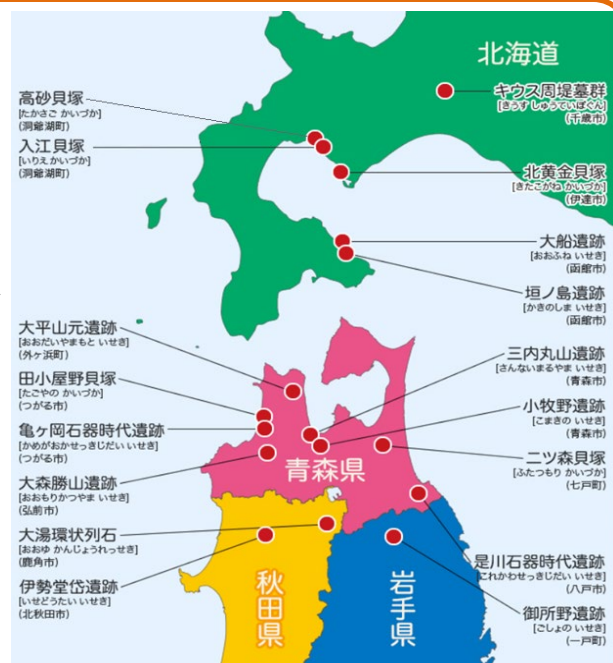
ごしょのいせき

御所野遺跡

○秋田県

いせどうたいいせき おおゆかんじょうれっせき

伊勢堂岱遺跡、大湯環状列石



三内丸山遺跡



大船遺跡



御所野遺跡



大湯環状列石

3. 登録までの経緯

2009年	暫定一覧表記載
2019年7月	文化審議会において、2019年度推薦候補に選定
2019年9月	ユネスコ世界遺産センターへ暫定版推薦書を提出
2020年1月	正式版推薦書を提出（文化審議会、世界遺産条約関係省庁連絡会議（外務省）、閣議了解を経て決定）
2020年夏～冬頃	イコモスによる審査（現地調査と書類審査）
2021年5月	イコモス勧告（「記載」勧告）
2021年7月27日	ユネスコ世界遺産委員会（16日～31日、於中国・福州／オンライン）における審議の結果、世界遺産一覧表への「記載」が決定